

平成29年度 事務事業マネジメントシート

事業名	し尿最終処分事業			会計	款	項	目	大	小
政策	02	2節	生活の豊かさを実感できる流山（生活環境の整備）	主管課	クリーンセンター				
施策	2-2	環境共生社会を目指す廃棄物循環型都市づくり		主管課長	糸井 正人				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	市内に居住するし尿収集世帯及び仮設トイレ利用者	意図	脱水汚泥等を適正かつ衛生的に処分する。
事業内容	し尿処理過程で発生した脱水汚泥は、助燃剤として使用するほか、脱水ろ液は放流水とし、処分する。			
事業開始から現在までの状況変化	脱水汚泥は、クリーンセンターの焼却施設で助燃剤として使用しているが、焼却施設のオーバーホールや故障の際は、脱水汚泥を他へ助燃剤として搬出している。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成27年度	平成28年度	平成29年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①	脱水汚泥搬出量	583.89	584.53	479.83	t	↓↓↓
②	放流量	22,828	22,637	21,148	m <sup>3</sup>	↓↓↓	
③							
④							
⑤							
⑥							

  

指標で表すことができない定性的な成果	事務事業のコスト			平成27年度	平成28年度	平成29年度	目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）
	事務事業の総コスト(a=b+c)	13,372,359	12,678,398	11,043,972			下水道の普及により浄化槽汚泥の搬入量は減少しているが、汚泥の濃度及び性状を確認しながら脱水処理時間を決定しているため、含水率に変動が起こり、脱水汚泥の搬入量に影響が生じている。
	事業費(b)(円)	9,607,359	9,245,898	7,687,972			
	うち一般財源	9,607,359	9,245,898	7,687,972			
	職員給与と費(c)(円)	3,765,000	3,432,500	3,356,000			
	人役・職員(人)	0.50	0.50	0.50			
	人役・再任用(人)						
	人役・臨職(人)						
	人役・嘱託(人)						
	初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）						
	想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）						

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき		効率性	対象者の適切性
					コストの削減	B 削減の余地がややある
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H29)の改善計画	脱水汚泥等を適正かつ衛生的に処分する。	③取組の課題	脱水汚泥の含水率を下げる工夫を実施する研究が必要と思われる。
②今年度(H29)に実施した取組	脱水汚泥等を適正かつ衛生的に処分できた。	④今後(H30以降)の改善計画	脱水汚泥の含水率を注視しながら、適正かつ衛生的に処分を行う。